

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年2月23日(2006.2.23)

【公開番号】特開2004-154120(P2004-154120A)

【公開日】平成16年6月3日(2004.6.3)

【年通号数】公開・登録公報2004-021

【出願番号】特願2003-2091(P2003-2091)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
A 6 1 K	35/12	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/08	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 P	9/12	(2006.01)
C 0 7 K	14/47	(2006.01)
C 1 2 N	1/15	(2006.01)
C 1 2 N	1/19	(2006.01)
C 1 2 N	1/21	(2006.01)
C 1 2 P	21/02	(2006.01)
C 1 2 Q	1/02	(2006.01)
C 1 2 Q	1/68	(2006.01)
G 0 1 N	33/15	(2006.01)
G 0 1 N	33/50	(2006.01)
G 0 1 N	33/53	(2006.01)
G 0 1 N	33/566	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
A 6 1 K	35/12	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 P	9/08	
A 6 1 P	9/10	
A 6 1 P	9/10	1 0 1
A 6 1 P	9/12	
C 0 7 K	14/47	
C 1 2 N	1/15	
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 P	21/02	C
C 1 2 Q	1/02	
C 1 2 Q	1/68	A
G 0 1 N	33/15	Z
G 0 1 N	33/50	Z
G 0 1 N	33/53	D
G 0 1 N	33/53	M
G 0 1 N	33/566	
C 1 2 N	5/00	A

【手続補正書】

【提出日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 心血管関連(CA)遺伝子によりコードされている単離ポリヌクレオチドであって、配列セクションに記載のアレル変異を持ち、CA遺伝子ポリペプチドの完全長cDNAのように機能的環境にあり、そしてCA遺伝子プロモーター配列を有するかまたは有さない、配列番号1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12、13、14、15、16、17、18、19、20、21、22、23、24、25、26、27、28、29、30、31、32、33、34、35、36、37、38、39、40、41、42、43、44、45、46、47、48、49、50、51、52、53、54、55、56、57、58、59、60、61、62、63、64、65、66、67、68、69、70、71、72、73、74、75、76、77、78、79、80、81、82、83、84、85、86、87、88、89、90、91、92、93、および94より成る群から選ばれるポリヌクレオチド。

【請求項2】 請求項1に記載のポリヌクレオチドを1以上含む発現ベクター。

【請求項3】 請求項2に記載の発現ベクターを含む宿主細胞。

【請求項4】 請求項1に記載のポリヌクレオチドによりコードされている実質的に精製されたCA遺伝子ポリペプチド。

【請求項5】 以下の工程：

a) 請求項3に記載の宿主細胞を、CA遺伝子ポリペプチドの発現に好適な条件下で培養する工程；および、

b) この宿主細胞培養からCA遺伝子ポリペプチドを回収する工程、
を含む、CA遺伝子ポリペプチドを生産する方法。

【請求項6】 請求項1に記載のポリヌクレオチドまたは請求項4に記載のCA遺伝子ポリペプチドを検出するための方法であって、生物学的試料を請求項1に記載のポリヌクレオチドまたは請求項4に記載のCA遺伝子ポリペプチドと特異的に相互作用する試薬と接触させる工程を含む方法。

【請求項7】 被験化合物を、請求項4に記載のCA遺伝子ポリペプチドと接触させる工程、および該CA遺伝子ポリペプチドの活性を検出する工程を含む、CA遺伝子ポリペプチドの活性を調節する物質についてスクリーニングする方法であって、該活性を増大させる被験化合物をCA遺伝子ポリペプチドの活性を増大させる可能性のある治療物質であると同定し、そして、該活性を低下させる被験化合物をCA遺伝子ポリペプチドの活性を低下させる可能性のある治療物質であると同定する方法。

【請求項8】 請求項7に記載の方法によって同定される、CA遺伝子ポリペプチドの活性を調節する試薬。

【請求項9】 請求項2に記載の発現ベクターまたは請求項8に記載の試薬および製薬的に許容し得る担体、

を含む医薬組成物。

【請求項10】 医薬の製造のための請求項8に記載の試薬の使用。

【請求項11】 ヒト対象のCA遺伝子座の、配列セクションの配列番号1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12、13、14、15、16、17、18、19、20、21、22、23、24、25、26、27、28、29、30、31、32、33、34、35、36、37、38、39、40、41、42、43、44、45、46、47、48、49、50、51、52、53、54、55、56、57、58、59、60、61、62、63、64、65、66、67、68、69、70、71、72、73、74、75、76、77、78、79、80、81、82、83、84、85、86、87、88、89、90、91、92、93、または94に示すヌクレオチド変異の実体を決定することを含む、ヒト対象が心血管疾患を持っているか、またはこれを発現するリスクを持つか、を判定するための方法であって、「リスク」遺伝子型が1より大きなリスク比率を有する方法。

【請求項 12】 a) 請求項 1 に記載のヒト C A 遺伝子中の多型位置にハイブライズするプライマー、および請求項 1 に記載のヒト C A 遺伝子中の多型位置に直接隣接してハイブリダイズするプライマーを含む群から選ばれる配列決定プライマー、および
b) 配列決定試薬、
を含む心血管状態を評価するためのキット。

【請求項 13】 請求項 1 に定義する配列群から選ばれる多型部位の 2 以上、全数までの組み合わせを検出する、請求項 12 に記載のキット。

【請求項 14】 ヒト C A 遺伝子ポリペプチド内部の、請求項 1 に定義の多型位置 または前記多型位置のいずれかの組み合わせに特異的な 1 以上の抗体を含む、心血管状態を評価するためのキット。